

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年8月1日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、まず、私から補足説明を申し上げます。

まず、1ページ目、原子力規制委員会、明日8月2日に委員会の会合がございます。議題は5件ございます。

まず、議題の1、JAEA・大洗研究開発センター燃料研究棟における核燃料物質飛散事案に係ります法令報告及びINESの暫定評価についてでございます。7月21日に法令報告の第2報がございました。これを受けまして、その概要及び今後の対応について報告をするものでございます。また、あわせまして、INES（国際原子力放射線事象評価尺度）というものでございますが、こちらの暫定評価についても報告がなされる予定でございます。

続きまして、議題の2でございます。日本原燃株式会社の廃棄物管理施設、こちらは六ヶ所の施設でございますが、こちらの施設のガラス固化体貯蔵建屋下部プレナム等における変色部やさびの発生に係る調査結果についてということでございます。こちらの事案は平成27年に確認されまして、以来、段階的に調査が行われてきたというところでございますけれども、6月30日に最終調査報告などが提出をされました。これを受けまして、調査結果及び今後の対応について報告を行うというものでございます。

続きまして、議題の3でございます。平成29年度第1四半期の保安検査の実施状況についてということございまして、こちらは保安検査の実施状況につきまして、定期的に報告をしているというものでございます。

続きまして、議題の4でございます。こちらは放射線審議会における諮問・答申についてということございまして、7月21日の放射線審議会総会で審議がなされました諮問・答申について報告をするとともに、この審議会総会で決定されました部会の設置について、報告をするものでございます。

続きまして、議題の5でございます。IAEAのIRRSフォローアップミッションの受け入れについてということでございます。御案内のとおり、平成28年1月にIRRSのミッションを受け入れたところでございます。そのフォローアップミッションの受け入れに向けま

して、IAEAの連絡などの準備を進めるということにつきまして、委員会にお諮りをするというものでございます。

続きまして、(2)及び(3)が原子力規制委員会の臨時会議に関するものでございます。

(2)の第30回の規制委員会臨時会議でございます。こちらは8月3日に開催されます。この会議は、核物質防護に関する情報を扱います関係で非公開とさせていただきます。議題は、個人の信頼性確認制度の導入に伴う核物質防護規定の変更認可申請に関するものということでございます。

内容につきまして簡単に申し上げますと、IAEAの勧告を踏まえまして、昨年、個人の信頼性確認の制度というものが導入されたところでございます。これに対応して、事業者から核物質防護規定の変更認可申請が出されまして、審査を進めてきているというところでございます。法律の規定に基づきまして、国家公安委員会及び海上保安庁長官への意見聴取を進めるということになりますので、それに当たりまして委員会にお諮りをするというものでございます。

続きまして、(3)の委員会の臨時会議でございます。こちらは8月4日に開催されます。議題は、行政事業レビューの取組に関する外部有識者による講評でございます。行政事業レビューのプロセスでは、点検結果につきまして、外部有識者からの講評を聞く場を設けるということになっております。通常の府省ですと、大臣、副大臣又は政務官が講評を聞くということですが、行政委員会においては委員長が講評を聞くことができるということになってございます。原子力規制委員会では、委員会として講評を伺うこととしたものでございます。

次に、1ページおめくりいただきまして、2ページ目、8月3日木曜日、(3)の原子力発電所に係る審査会合でございます。議題は大きく2件でございます。

まず、東京電力・柏崎刈羽発電所6・7号機につきまして、フィルタベントの手順の詳細及び直流電源の使用方法の詳細について、議論する予定でございます。

次に、日本原電・東海第二発電所につきまして、火山・外部火災などの外部事象が施設に与える影響、その他の事項について説明を聞き、議論する予定となっております。

なお、日程でございますけれども、午前中のうちの前半に柏崎刈羽についての議論が行われ、午前中の後半から東海第二について議論が行われるという予定になってございます。

続きまして、同じく8月3日、(4)の核燃料施設等に係る審査会合でございます。こちらでは試験研究炉3件についての審査が行われる予定でございます。

議題の1では、JAEAのJRR-3、東海にある施設でございますが、こちらの審査が行われる予定でございます。竜巻及び火山への対応について、議論する予定となっております。

議題2は、同じくJAEAのNSRRについてでございます。こちら東海の施設ということでございます。こちらにつきましては、これまでに一通りの議論を終えているというところ

ろでございますが、議題1にありますJRR-3の審査を踏まえて再整理を行うというものでございます。

議題の3では、同じくJAEAの試験研究炉HTTR、こちらは大洗の施設でございます。これについての審査が行われます。こちらにつきましては、火山灰への対応方法について、議論が行われるという予定になってございます。

次に、3ページ目でございます。8月7日、(8)第1回原子炉安全基本部会・第16回核燃料安全専門審査会の会合でございます。議題は主に2件でございます。

議題1は、IRRS課題に対する今後の対応についてということでございます。IRRS報告書から酌み取るべき事項というものを整理するための検討が6月の炉安審・燃安審の会合から行われておりまして、今回、整理した案というものをお示しして、議論をいただくという予定になってございます。

議題の2は、安全目標と新規制基準についてということでございます。こちらは2月2日付の委員会からの指示を受けまして、いわゆる安全目標、それと、新規制基準の関係について審議していくこととなっております。これについて、今回から議論を開始するというものでございます。

私からは以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。シゲタさん。

○記者 NHK、シゲタです。

2件お伺いしたいのですが、まず、1ページ目の(2)の3日の臨時会議のことなのですが、この内容というのは、何かしら概要でもオープンになるものなののでしょうか。

○大熊総務課長 これは会議自体は非公開でございますが、会議の資料について、公開をするということで予定しているということと聞いておりますが、それでよろしかったですね。

○司会 核物質防護に影響のないものについては、委員会の時間帯にホームページの方に公表いたします。

○記者 今の点、もう一点お伺いしたいのですけれども、これはテロ対策の話だとももちろん思うのですけれども、国家公安委員会というのは何となくイメージがつくのですけれども、海保というのはどういった点にかかわりがあるのか、お伺いしてもよろしいですか。

○大熊総務課長 これは核物質防護ということについては、そうした関係機関ですね、国家公安委員会、海保を含めて全体で取り組んでいくということになっておりますので、法律上、協議をするということになっております。今回の案件が個別にどこがどうとい

うことについては、特に私も承知しておりませんし、申し上げるべきことでもないかというふうに存じます。

○記者 もう一点お伺いしたいのですが、2ページ目の3日の(3)の審査会合なのですが、また柏崎刈羽が入ってきましたけれども、これでしばらくまた柏崎刈羽の審査会合が続くものなのか、それともこれが最後と見ていらっしゃるのか、お伺いしてもよろしいでしょうか。

○大熊総務課長 柏崎刈羽については、御案内のとおり、一通り審査は一巡したところでございますが、更に様々な確認作業を進めているというところでございます。その中で確認が必要な事項ということで、今回挙げた2点が出てきたということでございます。

今後については、今回の議論を進めてみる中で出てくるということでございますので、現時点では何とも明確なことは申し上げられません。

○司会 ほかに御質問の方はいらっしゃいますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。どうもお疲れさまでした。

—了—